

令和4年		
文学・思想	特定非営利活動法人知里森舎	明治時代に絶滅の危機にあった北海道アイヌ民族伝統文化の発信・継承に取り組む。「知里森舎」は、『アイヌ神謡集』を残し夭折した知里幸恵を顕彰し、2010年には民間の寄付金により「知里幸恵 銀のしずく記念館」を開設。
	一般社団法人札幌大学ウレシパクラブ	アイヌ伝統舞踊の公演活動を中心にアイヌ古典の復元などにも取り組む。「ウレシパ」はアイヌ語で「ともに育てあう」という意で、「ウレシパ奨学金制度」も運用している。
伝統芸能・音楽	淡路人形座	戦後存立の危機にあった淡路人形芝居を守るために発足。国内外での公演、学校でのワークショップ開催等の子供たちへの古典啓発活動、全国の人形芝居保存協会への協力など、人形浄瑠璃の普及発展のための活動を続ける。
美術・生活文化	クリストフ・マルケ（日本美術史家）	浅井忠はじめ日本近代美術を研究。日本美術を広くヨーロッパに紹介。日本でも忘れられてきた大津絵に着目し、日仏での紹介図書の出版、博物館・美術館で散逸する大津絵を調査研究し 600 点を確認する等、幅広く親日家としても活躍。
未来賞	宇治っ子朗読劇団☆Genji	2008 年の源氏物語千年紀を契機に、『宇治十帖』の舞台・宇治の小中学生が『源氏物語』を親しみやすく群読する「宇治っ子朗読劇団 Genji」を結成し、以降も子供たちに引き継がれて活動を続けている。
	京都府立鳥羽高等学校披講研究部	冷泉流歌道の作法で詠んだ生徒の和歌を、宮廷衣装を身に着けた高校生たちが古式に則り披講する活動を学内外で展開し、学校全体も古典・伝統文化教育を柱の一つとしている。
	津屋崎臨海学校実行委員会	1993 年以来 30 年、福岡教育大学の学生が中心となって、福岡県津屋崎海岸で小学生の臨海学校を開催し、子供たちが短歌を詠む活動を、企画運営をはじめすべて手作りで実践している。
古典の日制定十周年記念会長特別表彰	東儀秀樹・東儀典親	雅楽師として、雅楽を国民のだれもが親しみやすい音楽として広めた功績であり、日本人の心のよりどころとしての古典を次世代の若者に熱く語る「古典の伝道師」ともいえる活動をご子息の典親さんと共に実践され「古典の日」の推進にも大いに寄与された